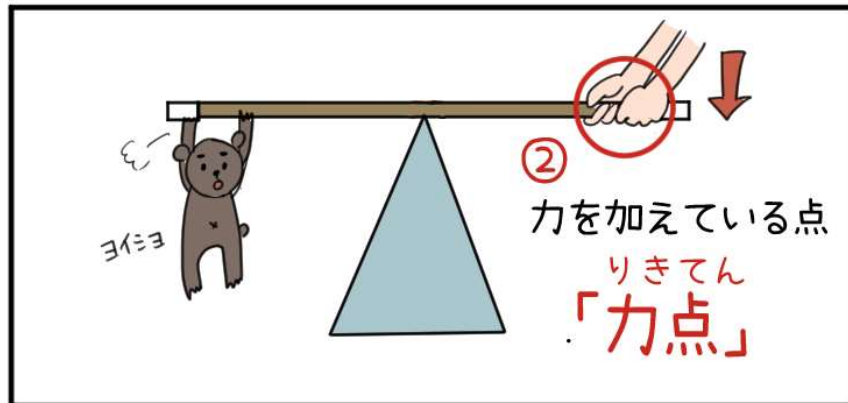
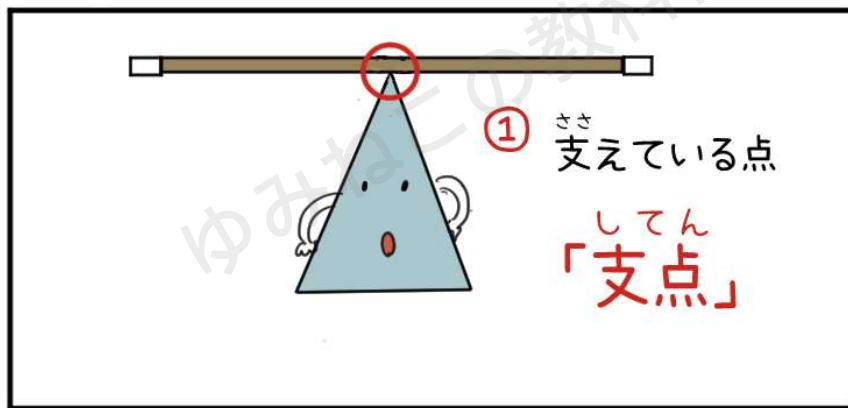


# 「てこを利用した道具（てこのはたらき）」

## わかりやすく解説

「てこを利用した道具」の学習でのポイントになるのは、それぞれの道具のどこが「支点」「力点」「作用点」なのかを理解することだよ！



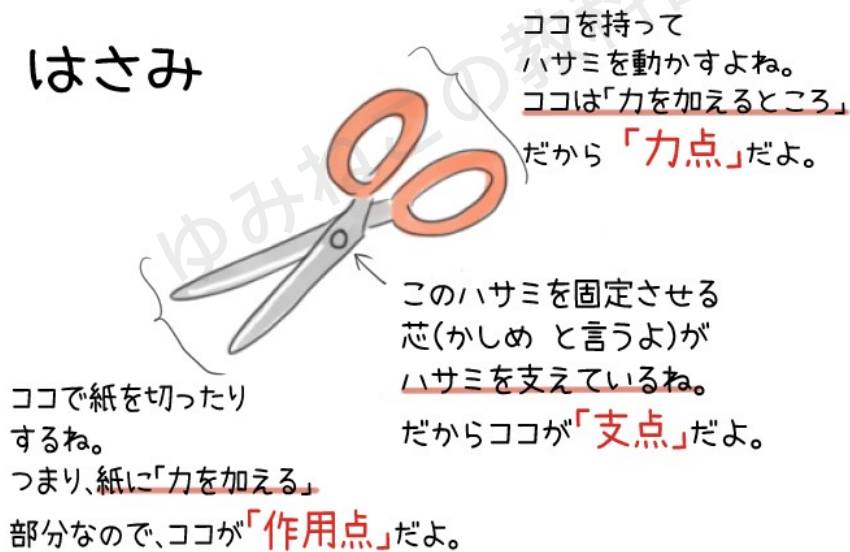
## てこを利用した道具

てこの「支点」「力点」「作用点」の場所には、3つのパターンがあるよ。

### 1. 支点が力点と作用点の間にあるパターン

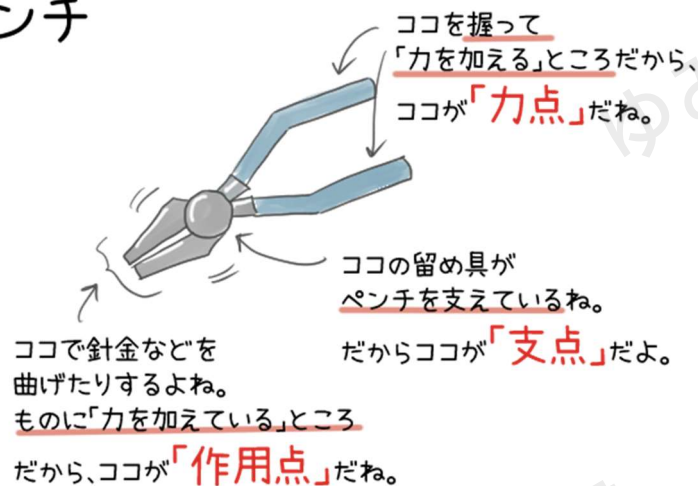
例：ハサミ

#### はさみ



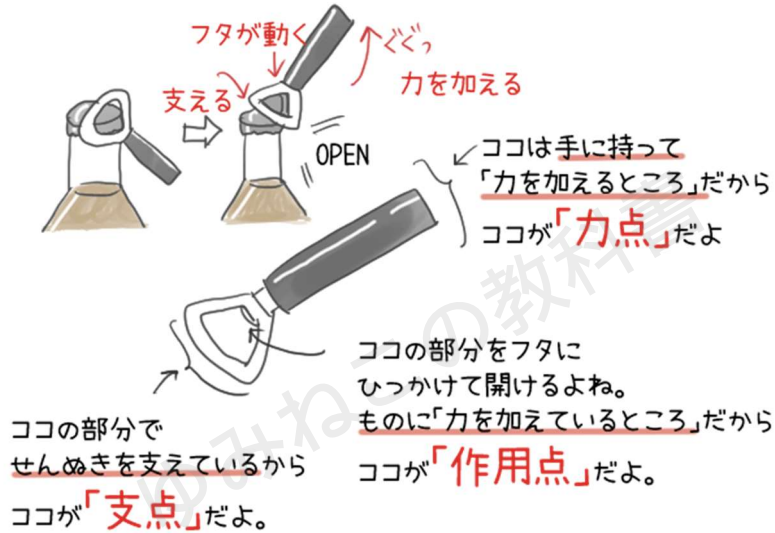
例：ペンチ

#### ペンチ



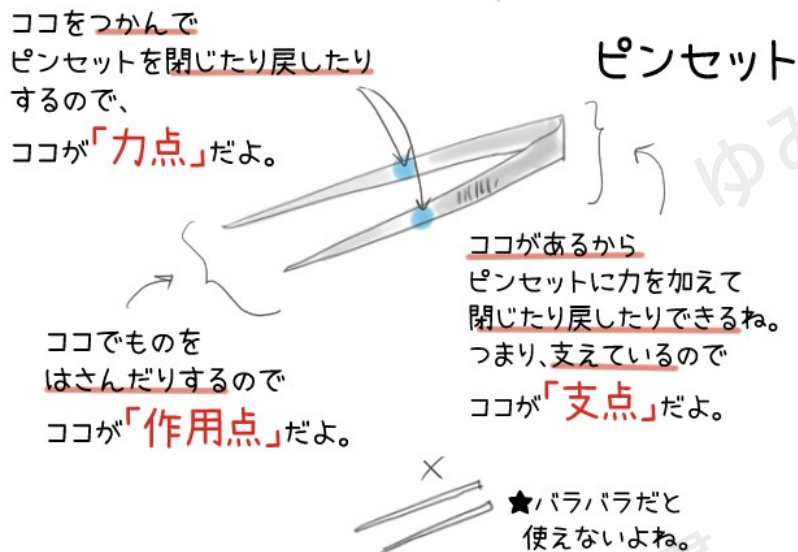
## 2. 作用点が支点と力点の間にあるパターン

例：せんぬき



## 3. 力点が支点と作用点の間にあるパターン

例：ピンセット



## 6年生はココを押さえればOK！ まとめ

### てこを利用した道具

「てこ」を利用した道具には、必ず「支点」「力点」「作用点」があるよ。

テストでは、道具のどこが「支点」「力点」「作用点」なのか見分ける必要があるよ。

#### 【見分け方】

##### 「支点」

「てこを使うために、てこが動かないように支える場所」

「てこがバラバラにならないように留めて（とめて）ある部分」

「てこがバラバラにならないように、繋がっている部分」

##### 「力点」

「てこを動かすために、手で持って力を加える場所」

##### 「作用点」

「ものをつかんだり、曲げたり、動かしたり、持ち上げたり…ものに力を加えている部分」

